

令和7年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 産業振興部 商工振興課
電話番号 0835(25)2574

1 施設の概要

施設名称	防府市中高齢労働者福祉センター（サンライフ防府）
設置目的	中高年齢労働者の福祉の増進に資するため設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益社団法人防府市シルバー人材センター
	代表者	理事長 三谷 勇生
	所在地	防府市八王子二丁目8番9号
指定期間		令和6年4月1日 ～ 令和11年3月31日（5年間）
選定方法		非公募
（非公募の理由）		シルバー人材センターは、中高年齢労働者の嗜好や状況を把握しており、これまでに蓄積した施設管理、事業実績のノウハウ等により、安定的・効果的な施設の管理運営が可能であるため。（防府市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例第5条4号）
利用料金制の有無		有

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 （具体的に）	(1)事業に関すること ① 健康づくり、教養の向上等のためにセンターの施設を提供すること ② 健康づくり、教養の向上等に関する研修会又は講習会等を開催すること ③ 職業に関する情報を提供すること ④ 前各号に掲げるもののほか、センターの目的を達成するために必要な事業を行うこと (2) 施設及び設備の維持管理に関すること ① センターの使用の許可に関する業務 ② センターの使用に係る料金に関する業務 ③ センターの施設の維持管理に関する業務 ④ 前各号に掲げるもののほか、指定管理者がセンターの管理上必要と認める業務				
組織体制	センター長 1人（窓口兼務） 事務職員 2人（窓口兼務、2人によるローテーション） 受付窓口職員 1人（会員7人によるローテーション） 清掃職員 1人（会員3人によるローテーション） 合計 5人				
労務環境	就業規則、給与規定等が策定され適切に運用されている。				
利用状況	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
①会議室・体育室利用者数（単位：人）					
	目標値	50,000	50,000		
	実績値	58,775	72,730		
	分析	会議室、体育室ともに利用者が増加した。特に体育室については、令和6年度は空調設備設置工事により利用不可の期間があったが、令和7年度は通年利用できたため、大きく増加した。			

②教養講座受講者数（単位：人）						
目 標 値	1,000	1,000				
実 績 値	1,524	1,457				
分 析	講座数の減少により、受講者も減少した。					

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
指 定 管 理 料	12,094,000	12,092,000			
利 用 料 金	6,869,500	8,277,250			
そ の 他 (内 訳)	10,957	23,329			
	受取利息：4,037	受取利息：14,139			
	雑収益：6,920	雑収益：9,190			
収入計(a)	18,974,457	20,392,579	0	0	0
人 件 費	6,312,741	6,987,612			
光 熱 水 費	2,668,082	3,263,740			
修 繕 費	1,277,275	1,559,540			
そ の 他 (内 訳)	12,845,052	14,715,179			
支出計(b)	23,103,150	26,526,071	0	0	0
収支(a-b)	-4,128,693	-6,133,492	0	0	0
分 析	施設利用者数の増加により、利用料金収入が増えたものの、光熱水費や租税公課の増額により収支状況が悪化している。				

②自主事業に係る収支					
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
収入計(c)	17,745,200	18,789,800			
支出計(d)	11,926,000	12,041,500			
収支(c-d)	5,819,200	6,748,300	0	0	0
主な内容	ヨガ・卓球・デッサン教室等				

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	施設利用者及び講座生にアンケート用紙を配布
	時期	令和8年1～2月実施
	回収率	回収率：約90%
	満足度の割合	とても良い22.4% 良い45.6% 普通30.9% 悪い1.2% とても悪い0.0%
対応状況		施設や設備の修繕の要望が多い。優先順位を付けて可能なところから対応したい。講座やその運営について、一部不満があるように思われる。講師とコミュニケーションを図りながら対応する。発表会のSNS発信は特に注視する。施設利用料値上げやそれに伴うソフト導入、インターネット環境改善等で、年度末から随分混乱したが、現在、少しずつ改善しつつある。

6 評価

指定管理者による自己評価	令和7年度は、講座運営等や施設利用における事業推進は概ね達成できたと思われる。施設及び設備の維持管理については、老朽化が進んでおり、令和7年度も改修改善をすすめて来たが、今後も優先順位をつけて取り組む。施設利用料の値上げや利用方法の変更に伴い、ソフト導入等窓口業務や集計業務が混乱、今後開発業者と連携し改善していく。
市の評価	収支状況については自主事業の好調により、全体として黒字が確保されているものの、黒字幅の減少についてはやや懸念がある。施設利用に関するアンケートにおいては、おおむね良好な結果となっていることから、今後も利用者に寄り添った環境づくりと施設運営を期待したい。また、自主事業の講座については、引き続き、多くの方に参加してもらえるような講座を実施されることを期待する。